

佛海上人の時代

江戸から明治へ 近代日本形成の激動の歴史

- 1751 宝暦元年
- 1760 第10代将軍 徳川家治(いえはる)
- 1764 明和元年
- 1767 明和事件 - 尊王論者の山県大弐・藤井右門を処刑
- 1772 安永元年
- 1772 田沼意次、老中就任(重商主義的政策、株仲間の激励など実施)
- 1774 杉田玄白「解体新書」 - 医学書(ターヘル・アナトミア)の邦訳
- 1776 平賀源内、エレキテル(静電気発生装置)復元
- 1781 天明元年
- 1782 天明の大飢饉(-1788)
- 1783 丸山(青ヶ島)噴火 - 島内の全家屋が焼失、死者7名。
浅間山の天明大噴火 - 死者1151名。
- 1785 蝦夷地調査隊を派遣する
丸山(青ヶ島)噴火 - 死者130 - 140名。
- 1787 第11代将軍 徳川家斉(いえなり)
寛政の改革(-1793年)
天明の打ちこわし
- 1789 寛政元年
- 1789 困米(かこいまい)の制 - 飢饉などに備えて穀物を備蓄
棄捐(きえん)令 - 旗本・御家人の借金帳消し・軽減
奢侈(しゃし)禁止令 - 贅沢の禁止
- 1790 寛政異学(かんせいいがく)の禁 - 異国の学問は朱子学のみ許可
湯島聖堂(昌平坂学問所)では朱子学以外の講義を禁止
人足寄場(にんそくよせば)を設置 - 軽犯罪者などの職業訓練所
- 1791 七分積金制 - 町入用(町費)を節減してその7割を積み立て
- 1792 林子平(はやししへい)の政論書「海国兵談」出版禁止
ロシアのラクスマンの通商要求を幕府拒否
尊号事件 - 朝廷と幕府の間での尊号問題
普賢岳(雲仙)噴火 - 死者約15000人。
- 1798 本居宣長の注釈書「古事記伝」
- 1800 鳥海山(出羽)噴火 - 死者8名。
- 1801 享和元年
- 1802 十返舎一九「東海道中膝栗毛」

1804	文化元年
1808	ロシアのレザノフが通商を要求、幕府拒否 間宮林蔵、樺太探検で間宮海峡発見 フェートン号事件 - イギリス船の補給要求 江戸湾岸に砲台建設
1811	グローニン事件 - ロシア船艦長グローニンを抑留
1813	御岳(諏訪之瀬島)噴火 - 全島民が島外へ避難。
1818	文政元年
1821	伊能忠敬、日本地図「大日本沿海輿地全図」完成
1822	有珠山噴火 - 火砕流で山麓の集落が全滅。死者 50 名以上。
1824	イギリスの捕鯨船が常陸大津浜・薩摩宝島に上陸して乱暴 シーボルトが蘭学の鳴滝塾設立
1825	異国船打払令 - 中国とオランダ船以外を武力で追払
1828	佛海上人ご生誕 (文政 11 年 5 月 9 日) シーボルト事件 - シーボルトが帰国時に禁制の日本地図を所持
1831	天保元年 葛飾北斎「富嶽三十六景」 防長大一揆 - 長州藩で発生した一揆
1833	歌川広重「東海道五十三次」
1833	天保の大飢饉(-1839 年)
1837	大塩平八郎の乱 - 飢饉により大塩平八郎が反乱 生田万(いくたよろず)の乱 - 飢饉により生田万が反乱 モリソン号事件 - アメリカ船を日本が砲撃
1837	第 12 代将軍 徳川家慶(いえよし)
1838	緒方洪庵が適塾(蘭学)設立 - 門下生は福沢諭吉・大村益次郎など
1839	蛮社の獄 - 鎖国政策を批判の高野長英、渡辺崋山らを捕縛
1840	遠山の金さん 遠山景元、江戸町奉行就任
1841	天保の改革(-1843 年) 株仲間解散令 - 株仲間(カルテル)解散 奢侈(しゃし)禁止令 - 贅沢の禁止
1842	滝沢馬琴「南総里見八犬伝」 薪水給与(しんすいきゅうよ)令 - 外国船への補給を許可 人返しの法 - 都市部に居住していた農民を故郷に戻す
1845	弘化元年 外国船対策に海防掛(かいぼうがかり)常設
1848	嘉永元年
1853	黒船来航 - アメリカのペリー、黒船 4 隻で浦賀に来航し開国要求 黒船来航対策の為、幕府はジョン万次郎を旗本の身分で登用

1853	<p>第13代将軍 徳川家定(いえきだ)</p> <p>日米和親条約 - 下田・箱館(函館)の開港及び補給など(鎖国廃止)</p> <p>下田踏海 - 吉田松陰と金子重之輔がペリ一船で密航計画</p> <p>日英和親条約</p> <p>安政東海地震(嘉永7年11月4日)、安政南海地震(嘉永7年11月5日)</p> <p>日露和親条約</p>
1855	<p>安政元年</p> <p>安政江戸地震</p> <p>日蘭和親条約</p>
1856	<p>アメリカ総領事ハリス、下田着任</p> <p>北海道駒ヶ岳噴火 - 死者21 - 29名。</p>
1857	<p>吉田松陰が松下村塾継承 - 門下生に高杉晋作、伊藤博文、山縣有朋など</p>
1858	<p>日米修好通商条約 (井伊直弼は勅許を得ずに調印)</p>
1858	<p>オランダ、ロシア、イギリス、フランスと修交通商条約調印</p> <p>戊午の密勅(ぼごのみच्छょく) - 孝明天皇が幕府より先に水戸藩に勅諭</p>
1858	<p>第14代将軍 徳川家茂(いえもち)</p> <p>安政の大獄(-1859年)</p>
1860	<p>万延元年</p> <p>勝海舟・福沢諭吉、咸臨丸で渡米</p> <p>桜田門外の変 - 井伊直弼(いいなおすけ)を暗殺</p>
1861	<p>文久元年</p> <p>ロシア軍艦対馬占領事件 - ロシアが対馬の一部を占領</p> <p>東禅寺事件 - 攘夷派がイギリス公使館を襲撃</p>
1862	<p>坂下門外の変 - 老中安藤信正を襲撃</p> <p>公武合体(こうぶがったい)</p>
1862	<p>寺田屋事件 - 島津久光、薩摩藩の尊皇攘夷派を鎮圧</p> <p>文久の改革 - 島津久光らによる改革</p> <p>生麦事件 - 島津久光の配下がイギリス人を殺傷</p>
1863	<p>英国公使館焼き討ち事件 - 高杉晋作、久坂玄瑞らによる</p> <p>下関事件 - 長州藩がアメリカ・フランス・オランダの船を砲撃</p> <p>高杉晋作、奇兵隊(長州藩諸隊)創設</p> <p>薩英戦争</p> <p>天誅組の変 - 尊皇攘夷派の天誅組が大和で襲撃</p> <p>八月十八日の政変 - 公武合体派が京都から長州藩と七卿を追放</p> <p>生野の変 - 七卿落ちの公家を擁した尊皇攘夷派による襲撃</p>
1864	<p>元治元年</p> <p>天狗党の乱 - 水戸藩の尊皇攘夷派が筑波山で挙兵</p> <p>池田屋事件 - 新撰組、池田屋にいる尊皇攘夷派の志士を襲撃</p> <p>禁門の変 - 長州藩、京都御所を襲撃</p> <p>第一次長州征討</p> <p>四国連合艦隊下関砲撃事件 - 英仏蘭米、下関を砲撃占拠</p>

1865	慶応元年
1866	福沢諭吉「西洋事情」 薩長同盟 第二次長州征伐
12月	第15代将軍 徳川慶喜(よしのぶ)
1867	1月 明治天皇ご即位 6月 坂本竜馬「船中八策」 10月 大政奉還 11月 近江屋事件 - 坂本龍馬と中岡慎太郎暗殺 12月 王政復古の号令(徳川慶喜の将軍職辞職。天皇主体の明治政府が誕生)
1868	明治元年
1月	戊辰戦争(1869年終結) 1月 鳥羽・伏見の戦い 3月 甲州勝沼の戦い 4月 宇都宮城の戦い、会津戦争 5月 北越戦争、上野戦争、奥羽越列藩同盟 9月 仙台藩・会津藩・庄内藩が明治政府に降伏 10月 五稜郭の戦い(1869年5月終結)
3月	五箇条の御誓文、五榜の掲示
4月	江戸城無血開城、政体書の公布、太政官布告(神仏分離令、神仏判然令)
5月	太政官札(だじょうかんさつ)の発行 - 期間限定の紙幣
7月	江戸ヲ称シテ東京ト為スノ詔書 - 江戸を東京と改称
1869	明治2年
	東京～横浜間で電信(公衆電報)が開通
3月	東京奠都(とうきょうてんと) - 首都東京
6月	版籍奉還 - 諸大名の領地(版図)と領民(戸籍)を天皇に返上 四民平等
7月	二官六省制
8月	蝦夷を北海道と改称
1870	明治3年
1月	大教宣布 - 天皇の神格化と神道を国教にする詔
12月	新律綱領(しんりつこうりょう) - 刑法典
1871	明治4年
1月	太政官布告(寺社領上知令) - 境内を除き寺や神社の領地を国が接收
4月	壬申戸籍(じんしんこせき)の制定 前島密(まえじまひそか)、郵便制度開始
5月	新貨条例 - 貨幣単位を円・銭・厘の十進法に変更
7月	廃藩置県(当初は3府302県)、日清修好条規(日本と清との対等条約)
8月	散髪脱刀令
9月	田畑勝手作許可 - 田畑の自由作付許可
11月	岩倉使節団 - 岩倉具視・大久保利通・木戸孝允らによる欧米使節団

1872

明治5年

- 2月 田畑永代売買禁止令の解除、福沢諭吉「学問のすすめ」
- 5月 東京招魂社(靖国神社)の本殿完成
- 8月 学制 - 学校制度による義務教育
- 9月 新橋～横浜間で鉄道開業
- 10月 富岡製糸場(官営模範工場)開業
- 11月 徴兵告諭 - 徴兵制度告知、国立銀行条例
- 12月 太陽暦導入(旧暦明治5年12月3日を明治6年1月1日)

1873

明治6年

- 1月 徴兵令、神武天皇即位紀元 - 皇紀(こうき)の制定
- 2月 キリスト教解禁
- 3月 羽黒山出羽神社の初代官選宮司に西川須賀雄が赴任
- 7月 地租改正 - 土地所有者の地租(地価の3%に当たる現金)納入
- 9月 西川羽黒山出羽神社宮司、出羽三山で神仏分離、徹底した廃仏毀釈断行

佛海上人 観音寺住職に赴任

1874

明治7年

- 2月 佐賀の乱 - 江藤新平らによる反乱
- 10月 屯田兵 - 北海道の開拓

1875

明治8年

- 2月 平民苗字必称義務令 - 平民の苗字の義務化
- 5月 樺太・千島交換条約 - 日本とロシア帝国との領土交換
- 9月 江華島事件 - 日本と李氏朝鮮との戦い。日本の勝利

1876

明治9年

- 2月 日朝修好条規 - 日本と李氏朝鮮との条約
- 3月 廃刀令(帯刀禁止令)
- 10月 神風連の乱・萩の乱・秋月の乱 - 武士(士族)の反乱
- 12月 伊勢暴動 - 地租改正の反対一揆

1877

明治10年

- 西南戦争 - 西郷隆盛を筆頭にした士族の反乱
- 8月 第一回内国勸業博覧会開催

1878

明治11年

- 3月 東京で電灯点灯
- 5月 紀尾井坂(きおいぎか)の変 - 大久保利通暗殺
- 7月 郡制 - 郡区町村編制法、府県会規則 - 各府県に府県会設置
- 8月 竹橋事件 - 近衛兵による反乱

1880

明治13年

- 10月 軍務局長上申書「陛下奉祝ノ楽譜改正相成度之儀ニ付上申」が施行され、「君が代」を国歌に改訂
- 11月 官営工場払下概則 - 官営模範工場払い下げ

1881 明治 14 年
10 月 明治十四年の政変 - 伊藤博文が大隈重信追放

1882 明治 15 年
6 月 新橋～日本橋間で馬車鉄道開業

1884 明治 17 年
11 月 甲申政変 - 李氏朝鮮のクーデター

1885 明治 18 年
3 月 福沢諭吉「脱亜論」
4 月 天津条約 - 日本と清との朝鮮に関する条約
12 月 内閣制度発足(初代内閣総理大臣伊藤博文)

1886 明治 19 年
3 月 帝国大学令

1888 明治 21 年

佛海上人 注連寺を再興

磐梯山噴火 - 死者 461 名。

4 月 市制・町村制

1889 明治 22 年
防穀令事件 - 日本と李氏朝鮮の穀物輸出問題。日本は賠償金獲得
2 月 大日本帝国憲法(2 月 11 日、国号を大日本帝国に制定)、皇室典範公布
7 月 東海道線全線開通

1890 明治 23 年
森鴎外「舞姫」
5 月 府県制・郡制
7 月 第一回衆議院議員総選挙
10 月 教育勅語
11 月 第一回帝国議会(上院：貴族院・下院：衆議院)

1891 明治 24 年
足尾銅山鉍毒事件 - 公害事件
5 月 大津事件 - ロシア帝国皇太子襲撃事件

1894 明治 27 年
7 月 日英通商航海条約
日清戦争(日本と清の朝鮮半島を巡る戦争。翌年 3 月終結)

1895 明治 28 年
樋口一葉「たけくらべ」
2 月 京都で路面電車開業
4 月 下関条約 第一条 清は朝鮮を独立国と認める。
第二条 清は遼東半島、台湾、澎湖諸島を日本に譲渡する。
第三条 清は日本へ賠償金 2 億両(銀)を支払う。
三国干渉 - ロシア帝国・ドイツ帝国・フランスが遼東半島を返還要求
5 月 日本は遼東半島を清へ返還

1896	明治 29 年	ギリシャ・アテネで第一回オリンピック開催
1897	明治 30 年	島崎藤村「若菜集」。志賀潔「赤痢菌」発見 3 月 貨幣法 - 銀本位制から金本位制へ変更 10 月 下関条約により李氏朝鮮、清から独立。大韓帝国建国
1898	明治 31 年	7 月 民法公布
1899	明治 32 年	東京～大阪間の長距離電話開通
1900	明治 33 年	伊藤博文「満韓交換論」(満州はロシア帝国、朝鮮半島は日本) 御鉢(霧島山)噴火 - 噴石で死者 2 名。 安達太良山噴火 - 死者 72 名。 6 月 清で義和団の乱。その後、清政府が欧米日八国に宣戦布告
1901	明治 34 年	アメリカから蒸気自動車を輸入 11 月 八幡製鉄所操業
1902	明治 35 年	日英同盟 伊豆鳥島噴火 - 島民全員死亡、死者 125 名。
1903	明治 36 年	ドイツの「世界国歌コンクール」で「君が代」一等受賞
佛海上人ご入定 (明治 36 年 3 月 20 日)		
1904	明治 37 年	国産の蒸気自動車(山羽式蒸気自動車)誕生 2 月 日露戦争(満州・朝鮮半島を巡る日本とロシア帝国の戦い。翌年 9 月終結。) 日韓議定書(日本は大韓帝国の独立・領土を保証。大韓帝国は日本へ協力)
1905	明治 38 年	夏目漱石「吾輩は猫である」

佛海上人ご縁日

毎月 20 日